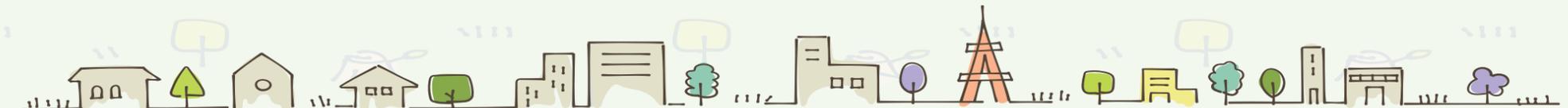


令和6年度

COMPASS発達支援センター小倉北 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和7年 3月 22日



○事業所名	COMPASS発達支援センター小倉北
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日～令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 11名 (回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和6年1月6日～令和6年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2名 (回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月6日～令和7年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 8施設 (回答者数) 6施設 (訪問回数が2回以下は除外)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月4日

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	北九州市内には事業所が多く、通所している児童も多いため、COMPASSのことを知っていただく機会もあるようです。送迎の様子を見かけたことがあるなど、お声をいただくこともありました。	これまでのCOMPASSの療育に対する評価が高く、信頼を寄せられていることを実感しております。この度、新規事業を開始しましたが、多くの保護者様から関心を持っていただき、「利用してみたい」とのお声を多数いただきました。その期待に応えられるよう、支援の充実に努めていかなければならないと、日々の引き締まる思いで取り組んでおります。	これまでサービスを利用したことがなく、受給者証をお持ちでないお子さまからのお問い合わせが増えております。利用開始までの流れが分からない方もいらっしゃるため、丁寧な説明と対応に努めております。
2	COMPASSに長く従事している訪問支援員が学校を訪問することで、児童の発達特性をよく理解した担当者が支援にあたっています。また、学校の担任の先生とも交流がある場合が多く、円滑なコミュニケーションが可能です。	児童一人ひとりの特性を深く理解し、保護者様のご意向を大切にしながら訪問支援を行いました。先生方も丁寧に対応していただき、相談しながら良い支援ができていっていると感じています。常に課題を意識し、工夫を重ねながら支援の質を向上させるよう努めました。	今後、訪問支援の希望者がさらに増えることが予想されるため、より良い支援が提供できるよう、事業所内での話し合いや勉強会を開催し、訪問支援員のスキルアップに努めていく必要があります。
3	今後、訪問支援の利用希望者が増えた場合も、支援員の増員など柔軟な対応が可能のため、希望される保護者様にも安心してご利用いただける体制を整えてまいります。	開始前には、訪問支援の流れを丁寧に説明し、保護者様に安心していただけるよう配慮しています。希望される方が多いため、支援が円滑に提供できるようスケジュール管理を徹底しています。	北九州市内のすべてのCOMPASS事業所に訪問支援員を配置し、希望される児童・保護者様が安心して利用できるよう、受け入れ体制を整えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特別なイベントなどで急な訪問依頼をいただくこともありますが、すでに他の訪問支援の予定が入っている場合は、ご希望の日に訪問が難しいことがあります。	訪問支援員が現在1名のため、月間の訪問スケジュールはほぼ埋まっている状況です。空きがある場合は対応可能ですが、難しい場合は後日の訪問時に様子を確認させていただいたり、ご家庭訪問でお話を伺う時間を設けるなどの対応をしております。	ご希望に添えるよう、可能な限りスケジュール調整を行ってまいります。
2	訪問支援員の休暇や体調不良時には、訪問を中止させていただく場合もあります。	予定外の休暇や体調不良により訪問を中止せざるを得ない場合は、訪問先や保護者様と相談のうえ、振替日を設定し、ご希望の訪問日数を確保できるよう努めています。	また、体調不良による訪問中止を防ぐため、日頃から体調管理に留意しております。訪問を希望される児童・保護者様に、安心して支援を受けていただけるよう努めてまいります。
3			

